

第1回記者会見資料

2013.05.27

PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015

開催決定および

アーティストディレクター発表

Kyoto

International

Festival

of

Contemporary

Culture



PARASOPHIA

広報に関するお問合せ

---

京都国際現代芸術祭組織委員会事務局（PARASOPHIA事務局） 担当: 多胡

TEL: 075-257-1453 FAX: 075-257-1454

E-mail: [press@parasophia.jp](mailto:press@parasophia.jp) URL: [www.parasophia.jp](http://www.parasophia.jp)

〒604-8152 京都市中京区烏丸通蛸薬師下ル手洗水町645 flowing KARASUMA 2階



## 2015年春、

京都で国際展「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015」を開催。

アーティストックディレクターに河本信治氏を迎えます。

このたび、京都経済同友会・京都府・京都市は、京都国際現代芸術祭組織委員会を設立し、2015年3月上旬から5月上旬にかけて、「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015」を開催する運びとなりました。

民間の経済人により組織された京都経済同友会の提唱を受け、京都府・京都市とが協働して行う本芸術祭は、行政主導により行われる国際展が多いなかで特異であり、古くから町衆が街のインフラから文化まで担ってきた京都という土地の地盤があってこそなし得るものといえます。

本芸術祭の開催にあたり当委員会は、ディレクター制度を採用し、2013年4月よりアーティストックディレクターとして、河本信治（こうもとしんじ）氏を迎えました。河本氏は三十数年にわたり京都国立近代美術館にて先鋭的で魅力的な企画を多くキュレーションしており、また、海外の国際展においても活躍してきました。京都の街に精通する河本氏による、海外のネットワークも活かしたディレクションにより、本芸術祭が京都の文化的潜在性を引き出す契機となることを期待します。

「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015」は、豊かな文化遺産と自由な学術環境をもつ京都という街の力を結集し、魅力に満ちた芸術祭の実現を目指します。今後の展開にご期待ください。

## 開催概要

名 称	PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015
会 期	2015年3月上旬から5月上旬
会 場	京都市美術館、京都府京都文化博物館ほか府・市関連施設など
アーティストックディレクター	河本信治（元・京都国立近代美術館学芸課長）
概算事業費	4億5千万円（2013～2015年度の総額）
目標入場者数	25万人
主 催	京都国際現代芸術祭組織委員会、一般社団法人京都経済同友会、京都府、京都市
後 援	国際交流基金

(2013.05.27 現在)



## アーティストックディレクター

河本 信治 コウモト シンジ

PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015 アーティストックディレクター  
元・京都国立近代美術館学芸課長

京都工芸繊維大学大学院工芸学研究科修士課程意匠工芸学専攻修了。1981年より京都国立近代美術館研究員。2006–2010年まで同館学芸課長。「横浜トリエンナーレ2001 メガ・ウェイヴ:新たな総合に向けて」共同ディレクター。2003年に第50回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展金獅子賞パビリオン部門国際審査委員ならびにドクメンタ12総合ディレクター選考委員を務める。主な企画展に「アゲインスト・ネチャー:80年代の日本美術」(1989)、「プロジェクト・フォー・サバイバル——1970年以降の現代美術再訪:プロジェクト<意志的・投機的>な実践の再発見に向けて」(1996)、「ウィリアム・ケントリッジ——歩きながら歴史を考える:そしてドローイングは動き始めた……」(2009)。

## ディレクター選定までの経緯

特別委員会として「京都国際現代芸術祭2015(仮称)アーティストックディレクター選考委員会」を設置し、河本信治氏を選定しました。

### 京都国際現代芸術祭2015(仮称)アーティストックディレクター選考委員会

委員長	長谷 幹雄	京都経済同友会代表幹事
委員	大野木 啓人	京都造形芸術大学副学長
	岸 和郎	京都大学工学部教授
	潮江 宏三	京都市美術館館長
	篠原 資明	京都大学総合人間学部教授
	島本 澁	京都精華大学芸術学部教授
	高橋 信也	森ビル株式会社執行役員、森美術館館長付アドバイザー
	建島 哲	京都市立芸術大学学長
	水沢 勉	神奈川県立近代美術館館長

(敬称略・五十音順・法人種類略、肩書は2013年1月現在)

広報に関するお問合せ | 京都国際現代芸術祭組織委員会事務局 (PARASOPHIA事務局)

E-mail: [press@parasophia.jp](mailto:press@parasophia.jp) TEL: 075-257-1453 FAX: 075-257-1454 URL: [www.parasophia.jp](http://www.parasophia.jp)

〒604-8152 京都市中京区烏丸通蛸薬師下ル手洗水町645 flowing KARASUMA 2階

3/8

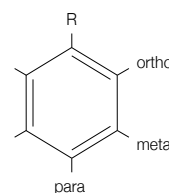


## ■ ディレクターからのメッセージ

### 京都国際現代芸術祭2015 PARASOPHIAについて

アーティストディレクター  
河本信治

大規模な国際展となる**京都国際現代芸術祭2015**に多くの人々に興味を持っていただくために、タイトルは短くて覚えやすい単語を、その音感を重視して考えました。日本人にとっては覚え易さと若干の不思議さを感じさせるものを、そして海外の複数の文化圏の人々にも**京都国際現代芸術祭2015**の趣旨を感覚的に伝達可能な単語を探し、**PARASOPHIA**に行き着きました。**PARASOPHIA**は、sophiaという女性的な語感とparaという軽い音感、さらにそれが暗示する図像イメージと世界地図での京都の位置をもとに着想しました。



**PARASOPHIA**はparaとsophiaを結合した造語で、どちらもギリシャ語を語源とします。sophiaは叡智や学問体系を意味し、paraは接頭辞で、パラドクス、パラソル、パラシュート、パラフレーズ、パラノイア、パラメーターなどのように、「別の、逆の、対抗的な」という意味合いで使われます。またparaは高校化学でお馴染みの芳香族、ベンゼン環の結合基の位置関係オルト、メタ、パラを指し、paraは六角形のベンゼン環で対面の関係を示しています。一般的にortho(オルト)は「オーソドックス、正規の」という意味を、meta(メタ)は「～を超えて、超越」といった上位の階層性を暗示します。私は堅苦しさを感ずるorthoやヒエラルキーを暗示するmetaよりも、paraの方が好ましく感じました。

**PARASOPHIA**という単語を思い付いたとき、イスタンブールのアヤソフィア(聖ソフィア寺院)を思い出しました。東ローマ帝国やビザンチン、そしてイスラムの叡智が凝縮されたアヤソフィアが所在するイスタンブールと京都は、世界地図で見るとちょうどアジア大陸の東西の両端であり、互いにパラ位置の関係にあります。またイスタンブールは陸と海のシルクロードの起点の一つであり、京都はその終着点としての位置関係にもあります。国際交流と文化の集積地としての京都を考える上で、この位置関係はとても象徴的なものに思えました。ベンゼン環の図像イメージは、京都の歴史と都市構造の変遷についても想いを運んでくれます。794年から矩形グリッドで造営された平安京は、応仁の乱を経て瘦せ細り南北に細長い六角形となります。しかし京都は16世紀中葉から都市としての活力を回復し、19世紀後半からは徐々に東西に市街地を拡大してベンゼン環に似た形状を持つ現在の形に至ります。ベンゼン環の構造図は、まるで生命体のような、不死の都市・京都の象徴的な図像に私には思えます。外に向けて接合子を延ばすベンゼン環は、強い求心力を持つ都市・京都そのものであり、京都の歴史と伝統の本質の一つである、絶えず外部の多様で均一ではない知性や才能を引き寄せる魔術的な力を表しています。そして過去と未来を繋ぐ京都という可能性に満ちた【魔法陣】を守り支えているのが、京都に住まう人々であることは言うまでもありません。京都と関係を結んだ才能や知性はこの地で新たな何かを着想し、新たな創造と表現のインスピレーションを得ると同時に、京都という都市に更なる力と可能性を加えてきました。**PARASOPHIA**という単語には、京都は消費の都市ではなく知や文化の創造の場であり、その装置なのだという想いを込めています。

国内外の約40名による先鋭的な作品や芸術表現を紹介する**PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015**は、家族で楽しめる軽やかさと楽しさと同時に、国内外の専門家たちの知的共感も吸引する重層的な内容を持つ芸術祭を目指します。

広報に関するお問合せ | 京都国際現代芸術祭組織委員会事務局 (PARASOPHIA事務局)

E-mail: [press@parasophia.jp](mailto:press@parasophia.jp) TEL: 075-257-1453 FAX: 075-257-1454 URL: [www.parasophia.jp](http://www.parasophia.jp)

〒604-8152 京都市中京区烏丸通蛸薬師下ル手洗水町645 flowing KARASUMA 2階

## ウェブサイト

[www.parasophia.jp](http://www.parasophia.jp)

2013年5月27日公開。イベントの詳細などの最新情報を随時掲載します。

ウェブサイト制作  
編集：合同会社バンクトゥ  
デザイン：pri graphics inc.  
コーディング・システム：株式会社シーズ

## ロゴデザイン

PARASOPHIA

Kyoto  
International  
Festival  
of  
Contemporary  
Culture

PARASOPHIA

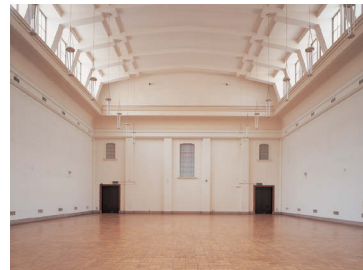
デザイン：西岡 勉

## メイン会場

### 京都市美術館

1933(昭和8)年11月、東京都美術館に次ぎ、日本で二番目の大規模公立美術館として設立。

館長：潮江 宏三  
設計：前田 健二郎  
竣工：1933(昭和8)年  
延床面積：9,349 m<sup>2</sup>  
所在地：京都市左京区岡崎円勝寺町124  
(岡崎公園内)



(写真撮影：福永一夫)

### 京都府京都文化博物館

京都の歴史と文化を紹介する総合的な文化施設として、1988(昭和63)年に開館。

館長：荒巻 禎一  
延床面積：15,854.7 m<sup>2</sup>  
所在地：京都市中京区三条高倉

別館(旧日本銀行京都支店)  
※重要文化財指定  
設計：辰野 金吾・長野 宇平治  
竣工：1906(明治39)年



広報に関するお問合せ | 京都国際現代芸術祭組織委員会事務局 (PARASOPHIA事務局)

E-mail: [press@parasophia.jp](mailto:press@parasophia.jp) TEL: 075-257-1453 FAX: 075-257-1454 URL: [www.parasophia.jp](http://www.parasophia.jp)

〒604-8152 京都市中京区烏丸通蛸薬師下ル手洗水町645 flowing KARASUMA 2階



## 開催までの流れ

2013.04	組織委員会発足		
2013.05	第1回記者会見開催		
2013.06		オープンリサーチプログラム [レクチャー]リピット水田堯	
2013.09	この頃にイベント詳細発表	オープンリサーチプログラムを 月に一度のペースで開催予定	
2013.10			琳派400年記念 京都フォーラム
2014.02			イベント[作品展示] ウィリアム・ケントリッジ 《時間への抵抗》(仮)
2014.03	この頃にプログラム詳細発表		
2014.09	この頃にチケット発売開始		
2015.03	PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015 開催		

## 今後のイベント

### オープンリサーチプログラム

2015年の開催に向けて、アーティストックディレクターとキュレトリアルチームは、いま注目すべき表現活動や、現代のアクチュアルな状況や問題について、調査研究と情報収集を行っていきます。このプログラムでは、国内外からのアーティストや研究者との対話、世界各地で開催される国際展のレポートなど、そのリサーチのプロセスを広く一般に公開します。様々な切り口から広がる刺激的な対話の時間を、参加者と共有することで得られるフィードバックも、リサーチの成果のひとつとなります。

#### オープンリサーチプログラム[レクチャー]

##### リピット水田堯「猫と犬のように——映画とカラストロフ」

日時：2013年6月21日(金) 18:00-19:30

→ 詳細は別紙をご覧ください。

会場：京都府京都文化博物館 別館ホール

入場無料・申込不要

\*7月以降の開催は決まり次第、発表いたします。

### イベント[作品展示]ウィリアム・ケントリッジ《時間への抵抗》(仮称)

2009年に京都国立近代美術館で個展を開催し、2010年の京都賞受賞作家でもある、南アフリカ出身の美術家ウィリアム・ケントリッジによる大規模なインスタレーション作品《時間への抵抗》(2012)を展示します。本作は、昨年のドクメンタ13のために制作された作品であり、アジアでの展示は今回が初めてとなります。

会期：2014年2月8日(土)–3月16日(日)

会場：元・立誠小学校(申請中)

→ 詳細は別紙をご覧ください。

共催：立誠・文化のまち運営委員会

### 琳派400年記念京都フォーラム

琳派400年記念の取組を提唱する関係文化人を招致しフォーラムを開催予定。

開催日：2013年10月6日(日)

広報に関するお問合せ | 京都国際現代芸術祭組織委員会事務局 (PARASOPHIA事務局)

E-mail: [press@parasophia.jp](mailto:press@parasophia.jp) TEL: 075-257-1453 FAX: 075-257-1454 URL: [www.parasophia.jp](http://www.parasophia.jp)

〒604-8152 京都市中京区烏丸通蛸薬師下ル手洗水町645 flowing KARASUMA 2階



運営組織

京都国際現代芸術祭組織委員会

会長 長谷 幹雄 ハセ ミキオ

一般社団法人京都経済同友会代表幹事  
長谷ビルディンググループ(株式会社長谷本社)代表取締役社長

長浜市出身。学習院大学経済学部卒業、米国カンザス大学MBA修了。1972年に株式会社長谷本社入社、取締役就任。2001年から同社代表取締役社長。企業理念は「好奇心と冒険心」。1987年京都経済同友会入会。2011年4月から代表幹事。その他に烏丸通まちづくり協議会会長なども務める。現在、京都市西野山に建築家・妹島和世設計による集合住宅《NISHINOYAMA HOUSE》を着工中。

委員会	会長	長谷 幹雄	京都経済同友会代表幹事		
	副会長	門川 大作 山田 啓二	京都市長 京都府知事		
評議員		天野 文雄	文化庁関西元気文化圏推進・連携支援室長		
		荒巻 禎一	京都文化財団理事長		
		井上 利丸	日本放送協会京都放送局長		
		齋木 宣隆	国際交流基金京都支部長		
		白石 方一	京都新聞社代表取締役会長兼社長		
		建畠 哲	京都市芸術文化協会理事長		
		増田 寿幸	京都経済同友会代表幹事		
		幹事		生田 義久	京都市教育長
				奥 美里	京都市文化市民局文化芸術担当局長
				岡田 秀人	京都市観光協会専務理事
小田垣 勉	京都府教育長				
小西 貴彦	京都府文化環境部文化政策監				
潮江 宏三	京都市美術館館長				
下田 元美	京都府立文化芸術会館館長				
納屋 嘉人	京都経済同友会京都国際現代芸術祭特別委員会委員長				
細尾 真生	京都経済同友会副代表幹事				
保科 秀行	京都府観光連盟参与				
顧問		八木 茂	京都経済同友会理事・事務局長		
		山内 秀顕	京都文化交流コンベンションビューロー専務理事		
		秋山 喜久	関西広域連合協議会会長		
		有馬 頼底	京都仏教会理事長		
		池坊 由紀	池坊華道会副理事長		
		稲盛 和夫	稲盛財団理事長		
		柏原 康夫	京都府観光連盟会長、京都市観光協会会長		
		フィリップ・ジャンヴィエ=カミヤマ	アンスティチュ・フランセ関西館長		
		千 玄室	裏千家大宗匠		
		高階 秀爾	大原美術館館長		
監事		立石 義雄	京都商工会議所会頭		
		武田 一平	京都経営者協会会長		
		服部 重彦	京都工業会会長		
		マルクス・ヘルニヒ	ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川館長		
		村田 純一	京都文化交流コンベンションビューロー理事長		
		岡田 博邦	京都銀行協会専務理事		
		松永 幸廣	京都監査法人マネージングパートナー		

(敬称略・五十音順・法人種類略)

広報に関するお問合せ | 京都国際現代芸術祭組織委員会事務局 (PARASOPHIA事務局)

E-mail: [press@parasophia.jp](mailto:press@parasophia.jp) TEL: 075-257-1453 FAX: 075-257-1454 URL: [www.parasophia.jp](http://www.parasophia.jp)

〒604-8152 京都市中京区烏丸通蛸薬師下ル手洗水町645 flowing KARASUMA 2階



## プロフェッショナルアドバイザーボード(※)

メンバー	伊東 正伸 越前 俊也 大野木 啓人 神谷 幸江 リン・クック	国際交流基金文化事業部企画役 同志社大学文学部教授 京都造形芸術大学副学長 広島市現代美術館学芸担当課長 ナショナル・ギャラリー・オブ・アート(ワシントンD.C.)視覚芸術高等研究センター、 アンドリュウ W. メロン教授
	ワシフ・コルトウン 佐藤 守弘 島本 洸 高橋 信也 椿 昇 クリス・デルコン 並木 誠士 ウテ・メタ・パウアー 平芳 幸浩 松尾 恵 森脇 清隆 山本 麻友美 吉岡 洋 リゼッチ・ラニヤード	SALTオンライン リサーチ&プログラムディレクター 京都精華大学デザイン学部長 京都精華大学芸術学部長 森ビル株式会社執行役員、森美術館館長付アドバイザー 京都造形芸術大学芸術学部美術工芸学科長 テート・モダン館長 京都工芸繊維大学美術工芸資料館館長 ロイヤル・カレッジ・オブ・アート美術学部長 京都工芸繊維大学美術工芸資料館准教授 MATSUO MEGUMI+VOICE GALLERY pfs/w代表 京都府京都文化博物館学芸課映像・情報室長 京都芸術センター プログラムディレクター 京都大学大学院文学研究科美学美術史学教授 美術批評家

(敬称略・五十音順・法人種類略)

以上19名ほか検討中

※ より優れた芸術祭の実現を目指すことを目的に、アーティスティックディレクターに  
対して助言・サポートする専門家により構成する。

## 京都国際現代芸術祭組織委員会事務局

アーティスティックディレクター キュレーター	河本 信治 中谷 至宏 (京都市美術館学芸課担当係長)
事務局長 事務局次長	尾崎 宣之 高畑 元喜 (京都経済同友会事務局課長) 西田 宏幸 (京都府文化環境部文化政策課参事) 舟瀬 伴子 (京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課担当課長)
インターナショナルリレーションズ 広報	一色 與志子 多胡 真佐子

### 組織委員会設立までの流れ

- 2012年 京都経済同友会・京都府・京都市の三者で、名称、組織、事業規模について検討する  
ため研究会を設置
- 2013年 アーティスティックディレクター選考委員会開催  
設立総会開催



# PARASOPHIA

Kyoto

International

Festival

of

Contemporary

Culture

# OPEN RESEARCH PROGRAM



## オープンリサーチプログラム[レクチャー] リピット水田堯「猫と犬のように——映画とカタストロフ」

日時：2013年6月21日(金)18:00-19:30  
会場：京都府京都文化博物館 別館ホール  
(重要文化財・旧日本銀行京都支店)  
〒604-8183 京都市中京区三条高倉  
TEL: 075-222-0888 | [www.bunpaku.or.jp](http://www.bunpaku.or.jp)

主催：京都国際現代芸術祭組織委員会、  
一般社団法人京都経済同友会、京都府、京都市  
共催：京都府京都文化博物館  
後援：国際交流基金  
\*入場無料・申込不要・定員200名

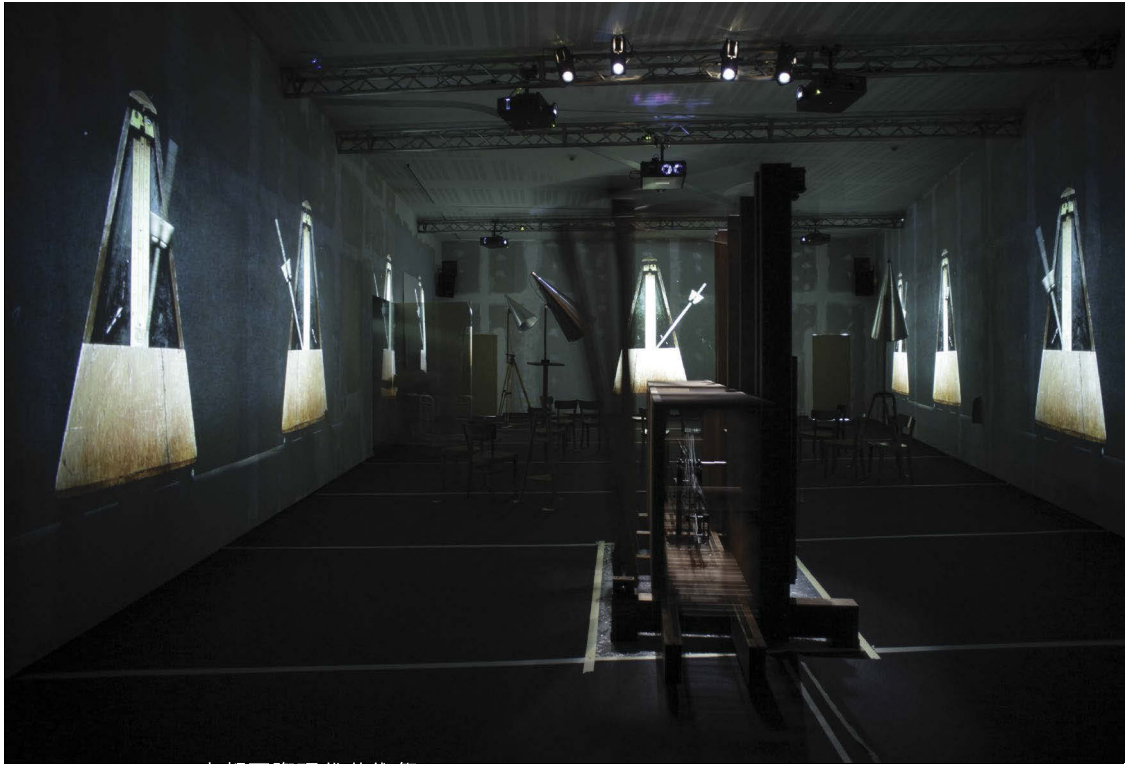
映画はどのように歴史を描くか。表現を避ける歴史をどのように映像として掴むか。現実と表現は猫と犬のように混ぜてはいけないものではないのか。三本の映画において、三つのカタストロフ——アメリカの南北戦争、ナチズムの誕生、そして広島市への原子爆弾投下——が描かれる。『国民の創生』(1915)、『意志の勝利』(1935)、『ヒロシマ・モナムール』(1959)の重要な場面で猫が映る。この動物は歴史的表現とカタストロフの関係を表す一種のメタファーかも知れない。しかしなぜ猫なのか?この講演は映画、カタストロフと猫の関係を考える。

——リピット水田堯

リピット水田堯◎南カリフォルニア大学映画学科学科長、比較文学学科教授、東アジア言語・文化学科教授。城西国際大学メディア学部客員教授。専門は映画史、映画論、実験映画、比較文学など。初の日本語訳著書『原子の光(影の光学)』『芸術論叢書』(門林岳史+明知隼二訳)が月曜社より発売予定。

お問合せ：京都国際現代芸術祭組織委員会事務局(PARASOPHIA事務局)  
TEL: 075-257-1453 | e-mail: [info@parasophia.jp](mailto:info@parasophia.jp) | [www.parasophia.jp](http://www.parasophia.jp)

オープンリサーチプログラムとは：アーティスティックディレクターとキュレトリアルチームが、PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015(2015年3月上旬~5月上旬開催予定)に向けて行う調査研究のプロセスを広く一般に公開し共有するためのプログラムです。芸術祭ならびに他のオープンリサーチプログラムについては：[www.parasophia.jp](http://www.parasophia.jp)



PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015

プライベート[作品展示]  
**ウィリアム・ケントリッジ**  
**時間への抵抗** (仮称)

2014.02.08-03.16

元・立誠小学校 講堂 (申請中)

京都市中京区備前島町310-2(木屋町通蛸薬師下ル)  
[www.rissei.org](http://www.rissei.org)

主催: 京都国際現代芸術祭組織委員会、  
一般社団法人京都経済同友会、京都府、京都市  
共催: 立誠・文化のまち運営委員会  
後援: 国際交流基金

\*詳細は決まり次第、発表します。

**William Kentridge (2012) *The Refusal of Time***

呼吸する機械(「象」とメガフォンのある5チャンネルのビデオインスタレーション)

コラボレーション: ウィリアム・ケントリッジ、フィリップ・ミラー、キャサリン・メイバーク、ピーター・ギャリソン

© William Kentridge

2009年に京都国立近代美術館で個展を開催し2010年の京都賞受賞作家でもある、南アフリカ出身の美術家ウィリアム・ケントリッジによる大規模なインスタレーション作品《時間への抵抗》(2012)を展示します。本作は、昨年のドクメンタ13のために制作された作品であり、日本での展示は今回が初めてとなります。

**ウィリアム・ケントリッジ**◎1955年南アフリカ共和国生まれ、ヨハネスブルグ在住。2010年に第26回京都賞受賞。「動くドローイング」とも呼ばれる素描をコマ撮りした手描きアニメーション・フィルムを始め、版画、インスタレーション、パフォーマンス、人形劇、オペラなどに幅広く取り組んでいる。また、俳優、演出家、著述家など多彩な分野でも活躍している。

**PARASOPHIA**

京都国際現代芸術祭組織委員会事務局(PARASOPHIA事務局) TEL 075-257-1453 | FAX 075-257-1454 | [info@parasophia.jp](mailto:info@parasophia.jp) | [www.parasophia.jp](http://www.parasophia.jp)